



日常の一こまを文章で表現

福岡県内の小・中学生が対象の作文コンクールで榎本悠愛さんが入賞

第61回「JA 共済」小・中学生作文コンクールで、榎本悠愛さんが福岡県教育委員会賞を受賞しました。昨年に引き続き2年連続の入賞です。年末年始にしめ縄を飾る日本の風習について作文を書いた榎本さん。「今年も受賞できてうれしいです。本をたくさん読んで、また頑張ります」と話してくれました。

高校最後の大会を優勝で飾る

3/2 テコンドーの全国大会で優勝したミラー綺芽さんが町長を訪問

1月に開催された第19回全日本テコンドー選手権大会（女子 - 67キログラム級）で優勝したミラー綺芽さんが町長と教育長に結果を報告しました。高校卒業後もテコンドーを続けるというミラーさん。「テコンドーや学業に取り組みながら、社会経験も積んでいきたい」と語ってくれました。これからも頑張ってください。



海辺のレンタサイクルで活用します

2/20 株式会社デイトナが町に電動アシスト自転車を寄付

株式会社デイトナ（静岡県周智郡森町）から、企業版ふるさと納税として電動アシスト自転車10台を寄付していただきました。温かいご支援に対して、町から感謝状を贈呈しました。

頂いた寄付は、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

感謝を胸に、新たな一歩

3/14 中部保育所卒園式

保護者や先生に見守られながら、10人の園児が中部保育所を卒園。式では、一生懸命練習した歌を披露した後、保護者へ感謝の言葉とともに花を渡しました。保護者は、子どもたちの姿にこれまでの日々を重ね、成長をのみしめていました。



地域文化振興の功績が称えられ

福岡県地域文化功労者表彰

岸原清行さんが、地域の文化振興に長年貢献してきたとして福岡県から表彰を受けました。おめでとうございます。

岸原さんは、福岡県を中心に俳句の普及や後進の育成・指導に尽力され、大きな功績を残されました。また、町内小学校で20年間俳句の指導をされたほか、現在もサンリーアイ文化講座「俳句を楽しむ」の講師を務められるなど、町の俳句の普及・振興にも貢献されています。



地域をつなぐ思いやりの輪

3/25 令和7年度児童生徒表彰

岡垣町教育委員会では、1年を通じてボランティアを積極的に行った団体や児童・生徒を表彰しています。今年度は、地域住民との交流、清掃活動などを行った波津子供会に表彰状と楯、記念品を贈りました。今後もさまざまなことに挑戦し、元気に活動を続けてください。

公用車として活用します

1/28 株式会社 IDOM が町に車両を寄付

中古車販売店「ガリバー」を運営する株式会社 IDOM(東京都千代田区) から、企業版ふるさと納税として温室効果ガス排出量の削減効果が高い車両3台を寄付していただきました。温かいご支援に対して、3月3日に町から感謝状を贈呈しました。

頂いた寄付は、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



呼吸から考える健康づくり

2/7 吉木校区コミュニティ 健康づくり教室

いこいの里で催され、67人が参加。福岡新水巻病院の生嶋一成先生と橋口一広先生を講師に迎え、COPD(慢性閉塞性肺疾患)の症状や主な原因である喫煙のリスク、進行を抑える治療法などを学びました。参加者からは「具体的な症状を聞くことで、自分の健康を考える良い機会になった」などの声が聞かれました。

100歳おめでとうございます

2/10 名島國夫さんが百寿 祝い状贈呈式

名島國夫さんが満100歳の誕生日を迎えられました。おめでとうございます。長年、町の配食ボランティアなどに尽力されていた名島さん。車の運転が好きだったということもあり、ボランティアの仲間と一緒に車で日本中を旅行していたそうです。町からは敬老祝金と祝い状、社会福祉協議会からは花束が贈られました。



地域の絆を深めて

2/18 戸切校区コミュニティ 演芸会

地域内の交流を目的としていこいの里で催され、78人が参加。カラオケや舞踊、ダンスなどさまざまな演芸が披露されました。にぎやかな雰囲気の中、会場には笑顔が広がり、参加者同士の交流が深まるひとときとなりました。